



小田原男声合唱団

第32回定期演奏会



2003.11.8 (土) 午後4時30分 開演

小田原市民会館大ホール

主催
後援

小田原男声合唱団
小田原市教育委員会

日本男声合唱協会 (JAMCA)

神奈川男声合唱協会 (KAMCA)

小田原地区合唱連盟

小田原音楽連盟

新市民会館建設促進の会

ごあいさつ

小田原男声合唱団 団長 一色 義信

本日は、ご多用中にもかかわらず大勢の皆様にご来賓に私達小田原男声合唱団の第32回定期演奏会にお越しを頂き誠にありがとうございます。団員一同心より御礼申し上げます。

最初に、我が合唱団の音楽監督兼常任指揮者であります外山浩爾は、バルト3国のひとつでありますリトニア共和国における演奏会のため、本日の定期演奏会で指揮をすることができませんこと、まずもってお断りさせていただきます。

さて、オダダンの1年間を振り返ってみますと、1月には恒例となりました箱根駅伝応援、5月には第5回神奈川男声合唱協会（KAMCA）演奏会、6月には秦野市のサンディー神奈川での演奏会、秦野女声コーラス定期演奏会賛助出演など、精力的な活動をして参りました。また来年7月18日には、すみだトリフォニーにおいて日本男声合唱協会（JAMCA）の演奏会も予定されております。男声合唱の普及、隆盛のためオダダンの活動にますますのご声援を賜ればと存じます。

本日は昨年の定期演奏会に引き続き、合唱の原点であるルネサンス宗教曲をレパートリーとしてとりあげました。古典音楽の指導では高い評価を得ております有村祐輔先生を客演指揮者にお迎えし、合唱の原点を通し、より高度なそして幅広い合唱音楽の創造を目指し努力して参りました。また、最近我が国の男声合唱界でも多くとりあげられるようになりました北欧の合唱曲、その中でも最もポピュラーな作曲家の一人でありますフィンランドのマデトヤの作品をとりあげ皆様に北欧の世界へとお誘いいたします。フィンランド語の発音はもとより、それぞれの曲の内容、背景までもご丁寧にご指導いただきましたツルネン・マルテイ氏にはこの紙面を借りまして厚く御礼を申し上げます。そのほかにも、皆様にとっても懐かしい日本の唱歌を集めました「日本抒情歌曲集」、そして男声合唱曲の定番、多田武彦先生の「富士山」とバラエティーに富んだプログラムといたしました。どうぞ私たちが1年間の練習の成果をお聴き頂きご批評頂ければ幸いです。

団員の平均年齢は60歳近くなっております。しかし私達オダダンは、歌声はますます若々しく、そして私たち一人一人の男声合唱に対する熱い情熱を高らかに唱い続けて参ります。どうぞこれからも、皆様の暖かいご支援を心からお願い申し上げます。

デザインどっさり、スキコリアイム **MD-im** NEW

MD-imが新コンセプトで登場！
「高音質設計」のMDに、木下基な「デザイン」を
コトアップする楽しさをプラス。聴く、見る、持つ、
集めるが楽しい、「新ZAKKA感覚」
「スキコリアイム」の登場です。

AXIA ホームページ <http://www.axia.co.jp/>
AXIAの音楽サイト <http://axiamusic.com/>

●オンライン送付やCD・レコード、テープから録音したものは、必ずあなたが個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に申請して使用できません。
●販売元/富士フイルム アジア株式会社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目17番5号 5F TEL.03 (6466)5551

プログラム

1 マデトヤ男声合唱曲集

- | | | | |
|-----|-------------------------------------|------------|----------------|
| | Leevi Madetoja 作曲 | | |
| | 指揮 桑原 正人 | | |
| I | <i>Viipurin marssi</i> | ウィープリのマーチ | Eero Eerola 作詞 |
| II | <i>Suvi-illan vieno tuuli</i> | 夏の夜のやさしい風 | Eino Leino 作詞 |
| III | <i>Mirjamin laulu</i> | ミリアムの歌 | Eino Leino 作詞 |
| IV | <i>Hän kulkevi kuin yli kukkien</i> | 彼女は花咲く中をゆく | Eino Leino 作詞 |
| V | <i>Kaunehin maa</i> | 美しき国 | Eino Leino 作詞 |

2 男声合唱による 日本抒情歌曲集

- | | | | |
|-----|----------|-----------|----|
| | 林 光 編曲 | | |
| | 指揮 桑原 正人 | ピアノ 近岡 直人 | |
| I | 箱根八里 | 鳥居 枕 | 作詞 |
| II | 早春賦 | 吉丸 一昌 | 作詞 |
| III | 叱られて | 清水 かつら | 作詞 |
| IV | 待ちぼうけ | 北原 白秋 | 作詞 |
| V | 浜辺の歌 | 林 古溪 | 作詞 |

—— 休憩 ——

3 ルネサンス モテット集

- | | | | |
|-----|------------------------------|--------------------|--|
| | 指揮 有村 祐輔 | | |
| I | <i>O Domine Yesu Christe</i> | Antoine Brumel 作曲 | |
| II | <i>Sub tuum praesidium</i> | Antoine Brumel 作曲 | |
| III | <i>Sancta Maria</i> | Nicolas Gombert 作曲 | |
| IV | <i>Regina caeli</i> | Nicolas Gombert 作曲 | |

4 男声合唱組曲 富士山

- | | | | |
|-----|--------------|---------------------|--|
| | 草野心平 作詞 | 多田武彦 作曲 | |
| | 指揮 桑原 正人 | | |
| I | 作品第壹 (1) | 麓には桃や桜や杏さき～ | |
| II | 作品第肆 (4) | 川面に春の光はまぶしく溢れ～ | |
| III | 作品第拾陸 (16) | 牛久のはての はるかのはての山脈の～ | |
| IV | 作品第拾捌 (18) | 嗚呼 まるで紅色の狼火のように～ | |
| V | 作品第貳拾 壹 (21) | 平野すれすれ 雨雲屏風おもたくとざし～ | |

曲目解説

マデトヤ男声合唱曲集

レーヴィ・マデトヤ(1887～1947)はシベリウスの後のフィンランドにおける最も重要な交響曲作曲家だが、多くの合唱曲も残している。

① ヴィープリのマーチ(1924年)

現在はロシア領となっている都市・ヴィープリは、ロシア統治からの独立時はフィンランド領であり、祖国の防衛上の重要な拠点であった。この曲はそのヴィープリ市民自衛軍のための行進曲として書かれたものだが、「ここは祖国の守りの地」と祖国防衛を鼓舞しつつも、「歌をうたえば戦いは取り去られる」と結んでいる。

② 夏の夜のやさしい風(1913年)

フィンランドの詩人であるエイノ・レイノの作品に曲をつけたもので、叙景的に祖国の自然の美しさを讃え、その美しい自然が悲しみを癒してくれると歌っている。

③ ミリアムの歌(1912年)

これもエイノ・レイノの詩。ミリアムとはかつての恋人の名前であろうか。「私のフィアンセよ。あなたはどこにいるの？」と呼び掛けながら、「私を見つけて」と歌っているから、行方不明の恋人に呼び掛けるラブソングといっていだろう。

④ 彼女は花咲く中をゆく(1945年)

幻想の恋か、はたまたか夢の中の出来事か。音の翼を得たかのように、咲き乱れる花の中を優雅に舞う恋人の美しさをファンタジックに歌うセレナーデである。

⑤ 美しき国(1916年)

祖国への讃歌といっていだろう。一番は「もつとも美しい地は極北の地」と歌い、叙景的に北の地のすばらしさを描いている。

二番は「もつとも美しい地は森の地」とし、「木々の中には慰めと魔法がある」と森の魅力を幻想的、心象的に歌い上げている。

男声合唱による日本抒情歌曲集

だれもが知っている日本の抒情歌曲を林光がピアノ伴奏を付して、男声合唱用にとアレンジした作品集である。

① 箱根八里 ② 早春賦 ③ 叱られて

④ 待ちぼうけ ⑤ 浜辺の歌

どの歌もある年令以上の人にとってはなつかしく、つい口づさんしまうほどに、耳や心に馴染んでいるが、改めて詩を口端にのせると言葉の美しさ、それを見事なメロディーに昇華した作曲家の技量とセンスに感嘆する。

漢文を基とした「箱根八里」を豪壮にして歯切れのよい歌にした滝廉太郎の手腕。

短き三行詩を重ねることで、北国に住む人や鳥の春の到来を希求する気持ちを見事に歌い上げ、さらに「ときにあらずと声もたてず」と詩片を繰り返すことで抒情を盛り上げる「早春賦」作曲家・中田章のたくらみ。

「叱られて」は、情景設定が判定しにくい詩だが、奉公に出された子供が主人公と考えれば心情も素直に共感でき、しみじみとしたメロディが、望郷の想いをかきたてる。

「待ちぼうけ」は、白秋の詩に曲をつけたものだが、陽気なメロディの中に、「易きについてはいけませんよ」という生活教訓が潜んでいて、思わずニヤリとさせられる。

そして「浜辺の歌」。設定は「病みし我」が療養地の浜辺を散策した際に詠んだ詩であるが、年齢のよわいを重ねた人ならば、歌われている想いに共感できるだろう。

作家で小田男団員の ひろたみを氏 (本名 見尾田博樹) こだわりの店	旬の味 くつろぎ処
『四季彩菜』	
旬の食彩を用いたおいしい家庭料理と、北海道から直送された山海の珍味を提供する和食の店です。 家庭惣菜、手作り干物、創作和食、陶板料理など多種多彩。 クラシックが流れる小粋な雰囲気。 大人のくつろぎ処としてご利用ください。	
営業時間	平日 PM5:00～11:00 土休日 PM4:30～11:00
定休日	毎週火曜日・第1・第3月曜日 小田原東口 おしゃれ横丁 ホテルとさん前
〒250-0011 小田原市栄町 2-2-9 電話 & FAX 0465-22-7668	

15世紀後半頃から台頭し始めた新しい音楽様式は、それ以前の音楽に較べて、より柔軟で豊かな響きをもつ音楽でした。今日ルネサンス・ポリフォニーと呼ばれるものです。アントワーヌ・ブリュメル(1460～1515)は、フランドルの大家ジョスカンに続く盛期ルネサンス音楽を代表するフランスの作曲家として知られます。彼はシャルトル、パリ、フェルラーラなどで活躍し、15曲のミサ、40曲のモテットなど教会音楽に多数の作品を残しました。《O Domine Jesu》は1518年頃の手稿譜として残されているもので、和声的な流れを骨格とし、その中で各声部が装飾的にポリフォニーの糸を紡ぎます。《Sub tuum presidium》は、グレゴリオ聖歌に基づいて作曲されており、彼の死後1521年に出版された《モテット集》に収められています。

フランドル出身のニコラ・ゴンベール(1495?～1560頃)は、ジョスカンの弟子ともされる大家の一人です。カール5世の礼拝堂歌手として皇帝に随行してスペイン、イタリア、ドイツなどを歴訪する中で多くを吸収しました。ゴンベールの作品の特徴は豊かな旋律性と華やかに練り上げられる模倣です。彼は10曲のミサ、約160曲のモテット、60曲のジャンソン等を残しました。《Sancta Maria》は1514年に出版された《モテット集》に収められています。《Regina coeli》は1549年に出版された作品で、グレゴリオ聖歌を最上声部に用いて作曲され、最後は華やかなアレルヤで締め括られます。

有村 祐輔

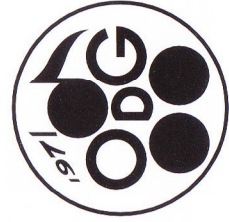
詩人・草野心平が戦争を挟んだ約10年間に、富士山をテーマとして連作した作品の中から五つの詩編を取り上げ、1956年に多田武彦が男声合唱として構成した組曲である。富士山を単に秀麗なる霊峰ととらえるのではなく、富士の織り成す千変万化の姿を美的に歌いつつ「宇宙につながる永遠の存在」として感受・表現する詩人の感性と想像力はそれだけで見事だが、その壮大なテーマを大きなスケールで男声合唱曲に仕上げた多田武彦の力量もまた高く評価されている。

それぞれ曲のテーマを概述すると以下のようなだろうか。

- ① 古代幻想ともいべき富士の祝祭。
- ② 富士山を背景にした陽春の中で戯れる少女と詩人の愛い。
- ③ 存在と無限、そして祈りを感じさせる黒富士の美しさ。
- ④ 黄銅色に輝く富士の絶対的普遍性。
- ⑤ 夕映えの驟雨に降り注ぐ宇宙線を想像する詩人の感性。

詩は叙景的だが、その叙景の描写の中に詩人の「祈り」があり、富士のやるせないまでの美しさが描写されているので、ハーモニーのダイナミズムだけでなく、詩人の魂の言葉をも同時に味わっていただきたい。

ちなみに草野心平は1988年に他界した。



小田原男声合唱団 団員募集中

50人の仲間と男のロマンを歌いませんか

オダダンは、いつでも皆さまを歓迎いたします。下記練習日に直接会場にお越しただけか、事務局までご連絡下さい。心からお待ちしております。

練習日：毎週火曜 19:00-21:00、毎月第2土曜 18:00-21:00
練習会場：郷土文化会館(小田原城内、駅徒歩8分)

会費：入会金 ¥1,500、1ヶ月 ¥3,000

小田原男声合唱団事務局(井上楽器内)：

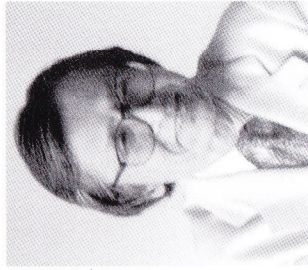
小田原市 栄町 1-13-36 (電話：0465-24-0515、FAX 0465-24-0711)

e-mail: Oodadan@aol.com

オダダンの最新情報は

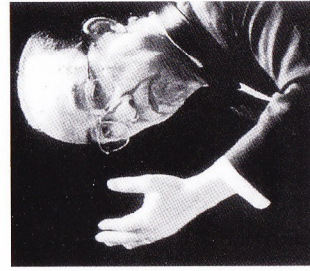
ホームページで：

<http://www.odadan.com>



有村 祐輔 (ありむら ゆうすけ) 客演指揮者

東京芸術大学卒。69年から72年にかけて英国に留学。声楽をノーマン・ブラットに、リコーダー及び通奏低音法をウォルター・バーグマン、指揮法をロジャー・ノリントンに学ぶ。その後、アルフレッド・デラー、デビット・マンロウらの教えを受けたのち、英国ノッティンガム大学大学院(MA)においてデニス・アーノルド教授、他にルネサンスおよびバロック音楽の解釈法を学ぶ。83～84年にオックスフォード大学に留学。現在、都留文科 大学名誉教授、上野学園大学教授、日本合唱指揮者協会、都留音楽祭音楽監督、日本古楽協会代表などを務め、日本古楽界の第一人者として活躍している。著書に『シエークスピアの音楽』ほか。訳書に『古楽の復活』などがある。



外山 浩爾 (とやま こうじ) 音楽監督 常任指揮者

日本楽壇の功労者・外山国彦を父に、指揮者・外山雄三を兄にもつ音楽一門の出身。幼少より本格的な音楽教育を受け、東京芸術大学に入学、柴田睦陸、ウーフアー・ペニヒ、リア・フォン・ヘッサート諸氏に師事し、卒業後直ちに同大学及び付属高校で教鞭をとる。その傍ら藤原歌劇団に参画し、「カルメン」を初めとして多くのオペラに出演した。東京芸術大学、鳴門教育大学において後進の指導に努めた功によって92年には文部大臣より教育功労表彰を受けた。96年に小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任。現在に至るが、今回は、ユダヤ人の命を助けた故杉原千畝の顕彰碑設置記念として行なわれる「日本・リトアニア合唱祭」の指揮を外務省より依頼され、その合唱祭の開催日が定演と重なることから、定演の指揮は見送られることになった。



桑原 正人 (くわばら まさひと) 指揮者

1969年、千葉県に生まれる。東京芸術大学音楽部指揮科にて指揮を遠藤雅古、フランシス・トラヴァイスに、ピアノを小林睦子に師事。NYK交響楽団、茅ヶ崎交響楽団、藤沢市民オペラ等の指導を行なうだけでなく、合唱においても卓越した指導・表現手腕を発揮。96年から小田原男声合唱団の指揮者に就任したのを皮切りに、「女声合唱団“湘南の風”」や「秦野女声コーラス」の指導を行うなど、実力派の合唱指揮者としても、大きな注目を浴びている。小田原在住。



近岡 直人 (ちかおか なおと) ピアノ

満6歳よりピアノを始める。鎌倉ピアノコンクール高校の部第一位受賞、合わせて市議会議長賞受賞。桐朋学園大学ピアノ科卒業。東京芸術大学大学院ピアノ科修士課程修了。芸大在学中、大学オーケストラと共演。奏楽堂にてジョイントコンサート開催。卒業後、相模原にてソロリサイタル開催。これまでNHK交響楽団員、読売日本交響楽団員との室内楽演奏をはじめ、市民オーケストラとの共演、数多くの演奏家と各地でコンサートに出演。合唱伴奏者としての評価も高く、小田原男声合唱団との共演も数多く行っている。これまで、小沢純子、奥田操、小牧洋子、兼松雅子、角野裕、安川加寿子、C.ソアレスの各氏に師事。

To Sing Is To Love Again

見尾田 博樹 (団員・作家)

30年以上も前のことだが、アメリカの作家ヘンリー・ミラーが「To Paint Is To Love Again (描くことはもう一度愛すること)」という名前の自作画集を出した。

「芸術は何のためにあるのか？」などという青くさい疑問を抱いていたときだけに、これぞ表現の神髄であり、芸術の目的であると素直に納得した。想うに、愛したくないものを描いても書いても仕方がない。

それは歌も同じである。曲世界に描かれたものをもう一度を愛したいがために歌い、また聴衆も、自分の人生や想い出を愛したいがために聴く。

だから、To Sing Is To Love Again。人生を、芸術を、想い出を、自然を、そして神をも、もう一度(いや何度でも)愛したいがために、歌っている。

小田原男声合唱団 2002-2004 年の演奏会と今後のスケジュール

年月日	演奏会	場所	指揮	曲目
02.11. 9	第 31 回定期演奏会	小田原市民会館	外山浩爾 桑原正人	「ピクリアミサ」「光の海」「愛の歌」 「日本民謡」
02.11.16	女声合唱団「湘南の風」 ファーストコンサート	藤沢市民会館	桑原正人	「日本民謡」より
02.11.30	三校メロコンサート	東富水小学校	桑原正人	「ぼくのふるさと」(伊東清邦・牛丸紘一)
03. 1. 2	箱根駅伝応援	小田原中継所	松本和夫	「箱根駅伝応援歌」(石井敏)
03. 3.22	自由通路開通	小田原駅	桑原正人	「箱根八里」「西湘の風雅」「日本民謡」 他
03. 5.17	第 5 回神奈川男声合唱 協会(KAMCA)演奏会	茅ヶ崎市民文化会館	桑原正人 清水敬一	「西湘の風雅」より 「富士山」(多田武彦) - 合同合唱
03. 6. 8	第 52 回湘南合唱祭	小田原市民会館	桑原正人	「西湘の風雅」より
03. 6.22	秦野サンシティー 開設記念演奏会	秦野サンシティー	桑原正人	「箱根八里」「西湘の風雅」「日本民謡」 「白秋の歌」「ロバートジョー」他
03. 9.13 14	合宿・強化練習	松田町民文化センター、 山のホテル秋桜	桑原正人	
03.10.12	強化練習	郷土文化館	桑原正人	
03.10.19	第 37 回小田原合唱祭	小田原市民会館	桑原正人	マデトヤ男声合唱曲より
03.11. 8	第 32 回定期演奏会	小田原市民会館	有村祐輔 桑原正人	
03.11.16	「箱根の秋」音楽祭	箱根町 仙石原文化センター	桑原正人	「日本抒情歌曲集」「西湘の風雅」
04. 1. 2	箱根駅伝応援	小田原中継所		「箱根駅伝応援歌」(石井敏)
04. 6. 6	第 53 回湘南合唱祭	海老名市文化会館	桑原正人	
04. 7.18	JAMCA2004 in Tokyo	すみだトリフォニーホール	荒谷俊治	第 2 番ミサ(グノー) 「川の流れるように」他 - 合同合唱
04.10.17	第 38 回小田原合唱祭	小田原市民会館	桑原正人	
04.11. 予定	第 33 回定期演奏会	小田原市民会館	外山浩爾 桑原正人	第 2 番ミサ(グノー)、 五つのルフラン(三善晃)、他

少なくとも私に関してはそうであり、その曲を紡ぎだした人間の想いがたまたまなくいとおいしい、歌うことで自分の人生を愛し直せるから、楽しい。

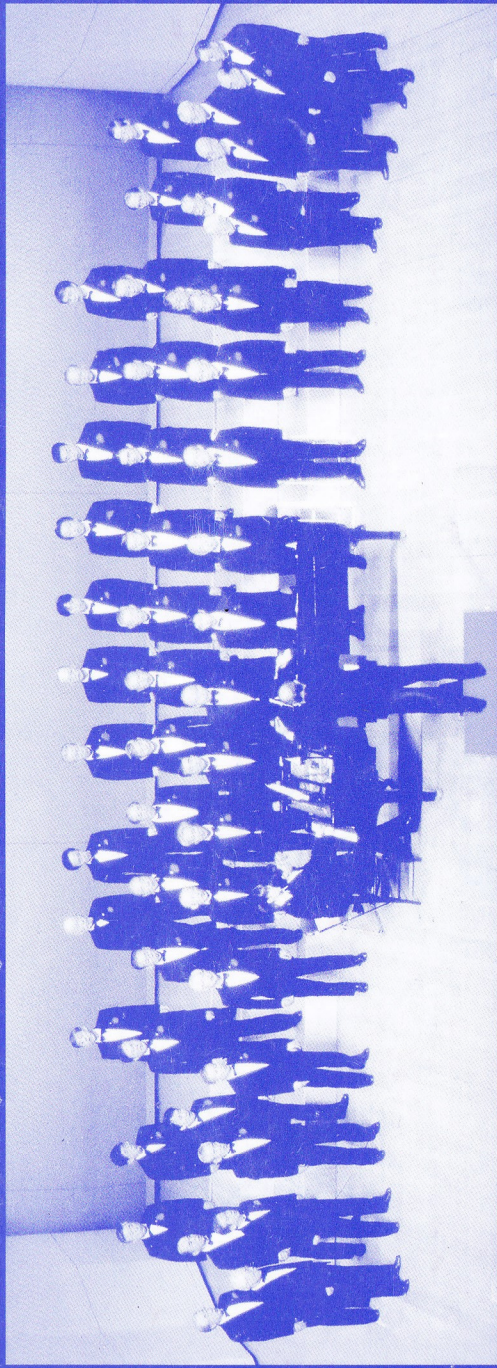
☆

今回の作品のひとつである「富士山」を歌うと、富士山に対する草野心平の想いが彷彿とすると、また口づさむことで、自分もまた富士山を愛していることを気づかされる。

日本抒情歌集に関してもそうだ。若かりし頃、その歌を口端にのせたときの思い出が蘇ると同時に、そのような青春のひとつときをもつ自分の人生も、私なりに愛すべき人生であったと確認する。

歌うことはもう一度愛すること。

今日もまた、この言葉を胸に、下手な声を張り上げようと思っている。



美しい合唱は人生のロマン 小田原男声合唱団の"MEN"BERS

T1: トップテナー

石山 誠 (藤沢)
 斎藤恵司 (厚木)
 日置達男 (小田原)

加藤重喜 (秦野)
 佐野 恵 (岡山)
 松田直隆 (山北)

加藤 兀 (大磯)
 西山廣木代 (二宮)

加藤治信 (厚木)
 長谷川幸雄 (小田原)

T2: セカンドテナー

青野幸夫 (秦野)
 杉本健二 (南足柄)
 福嶋 修 (小田原)

木村敬明 (寒川)
 須原清一 (南足柄)
 杵中 勉 (秦野)

佐藤精孝 (二宮)
 坪井孝士 (南足柄)

杉原由一 (南足柄)
 福井 隆 (二宮)

B1: バリトン

青野正純 (小田原)
 岡部仁之助 (秦野)
 下村興毅 (小田原)
 見尾田博樹 (小田原)

伊東清邦 (秦野)
 小澤 一 (小田原)
 高橋茂樹 (小田原)
 湯川裕光 (小田原)

牛丸紘一 (小田原)
 柏木秀茂 (小田原)
 西山隆行 (秦野)
 山本信雄 (南足柄)

江川卓男 (鎌倉)
 菊池義彦 (小田原)
 松本和夫 (小田原)

B2: ベース

赤川軍一 (伊勢原)
 日下部陽 (平塚)
 坂口宗夫 (小田原)
 辻岡伸浩 (開成)
 渡辺誠之 (小田原)

一色義信 (秦野)
 桑原敏雄 (大井)
 下澤 孝 (小田原)
 豊田増穂 (小田原)

井上忠彦 (小田原)
 古林源次郎 (二宮)
 鈴木壽久 (南足柄)
 原 誠 (南足柄)

江藤凱夫 (厚木)
 近藤陽一郎 (大磯)
 田島達也 (南足柄)
 星野正博 (茅ヶ崎)

休団者：宝子山尚生、小野 豊、鈴木幸三、藤本恒治

小澤亮太、古川源太郎、大塚孝文、山崎幸興、笠原 紘、千葉喜宣、矢島隆司

小田原男声合唱団

音楽監督、常任指揮者 外山浩爾
 指揮者 桑原正人
 団内指揮者 松本和夫

パートリーダー
 T1 日置達男
 T2 福嶋 修
 B1 湯川裕光
 B2 一色義信

運営スタッフ

團長 一色義信
 副團長 湯川裕光
 技術部 日置達男
 財政部 佐藤精孝
 団員部 桑原敏雄
 事業部 青野幸夫
 渉外部 斎藤恵司
 情報部 加藤重喜
 事務局 見尾田博樹
 会計 西山廣木代
 監査 田島達也

第32回定演スタッフ

委員長 青野幸夫
 事務局 見尾田博樹
 会計 古林源次郎
 演出 日置達男
 舞台 藤本恒治
 招待状 豊田増穂
 プログラム 見尾田博樹
 日置達男
 斎藤恵司
 打ち上げ 湯川裕光

アポロピアノ

東洋ピアノ製造株式会社

スタインウェイ&サンズ 新品、中古
 ペーセントルファー 新品、中古



井上楽器

小田原お堀端通り

TEL 24-0515